

令和7年度 幼保連携型認定こども園自己評価

園名 吹田市立はぎのきこども園

認定こども園法第23条において、幼保連携型認定こども園における教育及び保育並びに子育て支援事業の状況、その他の運営の状況について評価を行い、その結果に基づき幼保連携型認定こども園の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。このことに基づき、公立幼保連携型認定こども園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

こころゆたかに たくましく ～出会い 認め合い 育ちあい～

評価結果の表示方法

A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	全職員で人権の学習を行い、子供たち一人ひとりを尊重した保育・教育を行った。
こどもの発達援助	A	子供の思いに寄り添い、共に遊びを作り楽しい経験を積み重ねた。
保護者との連携	A	保護者の思いに寄り添い丁寧な対応を心掛けた。
地域との連携	A	こども園で行っているいろんな遊びを取り入れた地域事業を実施し、地域のニーズに応えた。
運営・管理、社会的責任	A	職員会議で意見を出し合い民主的な運営に努めた。
職員の資質向上	A	自己研鑽に励み、と研修での学びを職員間で共有した。
安心・安全	A	怪我・事故等の振り返りをし再発防止に努めた。安全な環境設定、保育作りをした。

今年度の評価

安心・安全な保育	・保育者一人ひとりが子どもの安全を第一に教育・保育してきた。人権に関する学びの場をもち、心穏やかに過ごせる雰囲気とかかわりを大切にした。 ・職員間の連携を深め、尊重を大切にし、園全体でよりよい教育・保育を行った。
子供を主体とした生活づくりとあそび	健やかな身体作りと自信に繋がる心の育成を大切にし、子供たちが互いの存在を尊重し感動を共有し、助け合う経験を積み重ねた。

来年度の目標

安心・安全な教育保育
しなやかな心と身体づくり